

シエムリアップ Moi Moi ライフ

ISSUE
103

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出 陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年“アンコールの都の西北”に公立のバイオン中学校を創設し、運営を行っている。

●JST ホームページ
<http://www.jst-cambodia.net>

バイオン高校がほしい!!

2013年10月にバイオン中学校を創設して丸6年が経ちました。中学校卒業後、これまでの高校進学者は、シエムリアップ市中心部にある2つの高校に振り分けられていましたが、自転車で片道1時間以上かかっています。バイクだとガソリン代が1日1ドルはかかる距離。進学者の半数ほどは学校に通いきれずに退学していました。

そしていつからでしょうか、生徒たちは「バイオン高校をつくってください」と校長に直談判するようになりました。家から近いこと、絆が深まった友達や先生方と別れたくないのももちろん、生活指導と規律が行き届いたバイオン中学校での生活は生徒たちにとっても快適だったようで、この理想的な環境の中でさらに勉学に励みたいと切望しています。校長も、これまで何度も高校併設を検討してきましたが、中学校教師でさえ教育省から十分に派遣されない現実を考えると、高校併設など夢のまた夢。毎年生徒たちの言葉に心を動かされつつも、あき



卒業試験結果発表に見入る中学3年生

らめざるを得ない結果となりました。そして今年5月、校長は、再度、州教育局に高校併設の打診をしました。が、やはり、農村部に赴任する教師がいけないという理由で実現は難しいとされ、「もし高校を併設するなら自力で教師を集めてほしい」とまで言われてしまい断念。しかし卒業式を迎えたこの時期、ここまで育てた生徒たちが一人でも多く高校進学の道を選んでほしいと、今年11月の新年度に向けて、校長は高校併設をあらためて決意し、教育省へ提出する申請書作成に取り掛かったのです。

中学校を創設した以上、また生徒たちの熱い思いと校長の決意がある以上、私もできるかぎりバックアップしていきたいと思っています。しかし、教育省の後押しがない中、果たして今年11月にバイオン高校は設立できるのでしょうか？ 教師は派遣されるのでしょうか？ その後の運営はいかに？ ……前途多難、手探り状態の学校運営はまだまた続きそうです。